



理事長
今村 良博

皆様には日頃より、熊本県の子どものためにご尽力をいただいておりますことに敬意を表します。また、熊本県教育会館へのご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、このたび当教育会館は平成25年4月1日をもって、「財団法人」から「一般財団法人」への移行を行いました。これによりまして、団体名を「財団法人熊本県教育会館」から「一般財団法人熊本県教育会館」に変更させていただきました。

新公益法人3法に基づき新法人への移行を進めていましたが、昨年10月県の「一般財団法人への移行認可」がおりましたので、4月1日をもって「財団法人熊本県教育会館」を解散し「一般財団法人」の設立登記を法務局に行いました。これからは新法人として設立目的達成のため精一杯努力していくことになります。移行に当たり理事長がご挨拶申し上げます。

一般財団法人に移行して(ご挨拶)

理事長 今村良博

昭和41年の財団法人熊本県教育会館の設立以来、熊本県教育の振興発展に寄与することを目的に事業を推進してきましたが、一般財団法人となりましたが、一般財団法人の趣旨は変わりがありません。今後、「アートのひろば」や「レモンガラス」の電話相談活動、「こころゆったり講座」、「カムバックセミナー」並びに「パパママ広場」等の開催や「会館共済」等の共済事業を通して、教職員の教養向上や福祉増進に貢献するように努めて参ります。また県内小中高への図書寄贈や会館寄席、ハートラインの電話相談活動、県かるた協会や県将棋連盟への助成など、子どもたちへの支援も引き続き行なって参りたいと考え



発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本県教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 今村 良博
印刷所 ホープ印刷株式会社

新法人の評議員、役員(理事・監事)

	氏名	性別	年齢	区分(所属等)	兼職
評議員	大塚 敏彦	男	52	全体区分 (県教育委員会)	なし
	井上 正文	男	57	〃 (熊本市教育委員会)	なし
	角居 恭一	男	62	〃 (小中学校長会)	なし
	田中 和幸	男	67	〃 (県立学校長会)	なし
	渡邊 博昭	男	56	地域区分 (南関第一小学校)	なし
	丸野 純哉	男	57	〃 (尾ノ上小学校)	なし
	岩田 智子	女	51	〃 (御船中学校)	なし
	平江 佳幸	男	52	〃 (荒尾第四中学校)	なし
	林 俊光	男	42	〃 (ひのくに高等支援学校)	なし
	勢田 昭一	男	59	〃 (鹿本農業高等学校)	なし
	光永 新治	男	66	〃 (小中学校退職者)	なし
	小林 敏夫	男	62	〃 (県立学校退職者)	なし
理事	野田 実	男	58	全体区分 (前理事長)	なし
	東 市子	女	63	〃 (元理事長)	なし
	赤塚 敏	男	63	〃 (元副理事長)	なし
	今村 良博	男	52	地域区分 (熊本県教職員組合)	なし
	西嶋 正	男	59	〃 (熊本県教職員組合)	なし
	今泉 克己	男	61	〃 (県高等学校教職員組合)	なし
	早田 豊一	男	77	〃 (県退教連絡協議会会長)	なし
	中松 健児	男	75	〃 (前熊本市議会議員)	なし
監事	吉永賢一郎	男	36	全体区分 (公認会計士)	なし
	須藤 哲郎	男	47	地域区分 (住吉中学校)	なし
	横田 方正	男	57	〃 (合志中学校)	なし
	石原 哲也	男	45	〃 (熊本支援学校)	なし
	名島 弘和	男	64	〃 (小中学校退職者)	なし
	嶋田 久義	男	60	〃 (県立学校退職者)	なし

4月1日設立時の井上知行評議員(県教委教育政策課福利厚生室長)は県の定期異動により知事部局へ異動となられたため、定時評議員会の5月23日付で辞任されました。後任の大塚敏彦氏(同)が5月23日開催の定時評議員会において選任され、同日就任されました。

ています。

昨年の九州北部大豪雨のことがあり、熊本市中央区の仲介で、当会館は災害時における白川小学校5町内・7町内の「地域指定一時避難場所」となりました。昨年11月と今年5月には地域との合同避難訓練も実施しました。また月2回地域のための「ヨガ教室」も開

平成25年度事業計画

《基本方針》

1. 新法人の機関運営は、コンプライアンスを基本とし、定款の規定に従います。
 2. 公益目的事業の継続のため、収益事業の安定経営に務めます。
 3. 教職員が教育に専念できる環境づくりとして、教職員を支える「福利厚生関係団体」相互の連携を図ります。
- ① 会館の財政・管理運営について
- (1) 新法人・一般財団法人熊本県教育会館へ移行します

す。新定款に従い機関運営を行います。そのため、教育会館を設立した両教職員組合を始め、教職員の諸団

催し好評を得ています。地域にも開かれた会館をめざしています。

最後になりますが、今後

とも熊本県教育会館へのご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

体や行政当局との連絡を密に行いながら適正な事業執行に努めます。

(2) 公益事業会計と収益事業会計の区分経理を行い、事業収入と管理経費の適正化を図ります。また、長期的な公益事業の継続のための事業環境を作ります。

(3) 個人情報保護の重要性を踏まえ、法令およびその他の規範に基づき、個人情報情報を適切に取り扱うようにします。教職員事務センター(仮称)は平成26年稼働を目指して関係団体との協議を進め、個別に行われている教職員との連絡関係を1本化できるようにします。

(4) 教育会館の安全管理のため、関係機関と連絡を密に行い保守体制を堅持します。また、熊本市九品寺自治会の「地域指定一時避難場所」の指定を受け、災害時に地域住民に施設の一部を提供できる体制を整えます。

会館の今後の改修計画については、「大規模改修委員会」を設置し、2、3年をめどに将来の会館維持体制の確立をめざします。当面、改修資金の積み立てを進めます。

(5) 「教育会館ニュース」を発行し、教育会館設立の目的や現状を全教職員に知らせます。また、教育会館ホームページを活用して、情報の開示と発信に努めます。

② 福祉共済事業について

(1) 会館共済を継続します。団体保険としての「更新」手続きについては、更新時期（キャンペーン）の対応が教職員にとって「分かりやすく、手続きしやすい」ものとなるように改善します。また、平成 24 年度から適用の「所得税・住民税の生命保険料控除税制改正」については、引き続き「控除申請手続きのお知らせ」を丁寧に行います。

(2) 「終身保障」制度導入の要望を受け、制度検討を始めます。

③ 教育文化事業について

(1) 図書寄贈を継続します。寄贈校の選定にあたっては、検討委員会を開催し決定します。

(2) 県下の教職員のため、「こころゆったりヒーリングセミナー」を 8 月 2 日（金）育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を 11 月 19 日（火）に、「パパママひろば」を原則毎月第 2 水曜日に開催します。また、教育会館周辺の地域住民対象の「ヨガ教室」を原則毎月第 1 木曜日（午前）第 3 木曜日（夜）開催します。

(3) 熊本県下の児童・生徒のための「会館寄席（学校寄席）」を・嘉島町立嘉島西小学校

平成 24 年度事業報告

1. 会館の財政運営について

(1) 会館の基本資金である会館建設基金（出資金）については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。出資金の返済は、退職による返済が 416 人、4,266,000 円でした。この結果出資金の残額は 99,995,000 円となりました。出資金の寄附の申出は、2 名 18,000 円でした。（表 1）

(2) 地代家賃は、100% 納入されています。

(3) 会議室賃料は、前年と比べ約 22% の減となりました。会館共済キャンペーン

10 月 22 日（火）・芦北町立吉尾小学校 10 月 23 日（水）・上天草市立龍ヶ岳中学校 10 月 24 日（木）の 3 校で開催します。

(4) 「県かるた協会」「日本将棋連盟熊本県支部」の活動に協賛し、会場の提供等を行います。

(5) NPO 法人「ハートラインくまもと」の子ども電話相談活動を支援します。また、教職員の電話相談室「レモンガラス」を継続します。

(6) 教育会館ロビーを活用した「アートのひろば」を継続します。（第 8 次）

表 1 会館建設基金・出資状況 5 年間の推移 (円)

平成	出資額	返済額	出資残額
20 年度	30,000	3,744,000	115,073,000
21 年度	12,000	3,342,000	111,743,000
22 年度	0	3,822,000	107,921,000
23 年度	0	3,660,000	104,261,000
24 年度	0	4,266,000	99,995,000

の推進本部としての会議室使用や、県かるた協会に加え日本将棋連盟熊本県支部の将棋練習会等への会場無償提供なども貸料減の原因です。（表 2）

(4) 会館共済事業の集金手数料は約 3,000 万円と安定しています。また教育会館の特別給付金は、申請期間を 3 年間に延長しましたが年間給付額が 1,400 万円前後で安定しています。（表 3）

(5) 退職者福祉年金事業は、平成 24 年 3 月末で個人口を終了、6 月末で団体口の終了手続きを完了し、福祉年金特別会計の整理残り 163 万円を一般会計に繰り入れました。

(6) 会館経営の安定化のための各種引当は、継続的に引当額を高めてきました。

表 2 会議室・利用状況 5 年間の推移 (円)

平成	出資者		一 般		計	
	件 数	賃 料	件 数	賃 料	件 数	賃 料
20 年度	245	1,723,390	216	4,807,499	461	6,530,889
21 年度	216	1,878,218	192	4,333,035	408	6,211,253
22 年度	172	1,293,363	154	3,511,205	326	4,804,568
23 年度	188	1,685,366	223	4,453,059	411	6,138,425
24 年度	176	1,228,132	166	3,576,948	342	4,805,080

(表 4)
(7) 会計処理は「区分経理」により「継続事業（公益目的事業）」の適正な執行が必要で、そのため、ユース会計社（吉永公認会計士事務所）との契約を継続し、

表 3 特別給付金・給付状況 5 年間の推移 (円)

平成	出産祝金	休職見舞金	入院見舞金	退職祝金	満期祝金	医療プラン	合 計
20 年度	1,873,000	2,100,000	5,095,000	910,000	285,000	3,815,000	14,078,000
21 年度	1,547,000	1,200,000	5,773,000	1,010,000	0	4,309,000	13,839,000
22 年度	1,701,000	1,150,000	5,708,000	1,290,000	0	3,739,000	13,588,000
23 年度	1,732,000	1,500,000	5,367,000	1,200,000	0	4,253,000	14,052,000
24 年度	1,525,000	900,000	5,992,000	1,160,000	0	4,853,000	14,430,000

表 4 各種引当・状況 5 年間の推移 (万円)

平成	基本財産減価償却	建物修繕	特別給付準備	記念事業準備	計	出資金返済	退職給与	引当金総計
20 年度	8,531	4,200	4,702	1,405	18,839	1,900	1,732	22,471
21 年度	9,271	4,700	4,802	577	19,351	2,300	1,170	22,820
22 年度	10,017	3,500	4,802	789	19,110	2,700	1,370	23,178
23 年度	10,783	3,300	4,802	989	19,876	2,900	372	23,146
24 年度	11,549	3,800	4,802	10,89	21,241	3,200	473	24,914

適正な処理と円滑な執行に努めました。また会員管理や収納方法の合理化について、コープ熊本と県教職員組合、教育会館の3者で協議を進めています。

2. 管理業務について

(1) 夜間や休日の管理警備は、2名の職員が交替制で勤務し、会館を常時使用できるようにしています。1名の病気のため、6月より臨時の態勢で対応してきました。会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間でした。

(2) 安全管理及び設備・備品の保守については、専門業者と保守契約を行っています。(表5)

(3) 災害の未然防止と万一の災害に備えるため、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を実施しました。第1回目の避難訓練は、5月24日に火災発生による避難訓練と、駐車場火災発生時の「移動式粉末消火器」の使用訓練を実施しました。第2回目の避難訓練は、11月19日に「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。これは7月12日の九州北部豪雨により九品寺界隈も浸水・冠水被害が発生したため、教育会館を地域の一時避難場所に指定するた

めの訓練でした。1月には「災害時の一時避難場所提供における施設利用に関する協定書」を地域自治会と締結し、継続的な訓練を実施していくことになりました。また専門業者(ユージー防災設備)による消防設備の点検を9月21日と3月15日の年2回実施しました。

したが、完了していませんので引き続き取り組みます。1階トイレ下ピットの漏水は、マンホールのふた部分の舗装工事を行いました。当面は毎月の点検とポンプにて汲み出しを行います。立体駐車場のボルトの緩み対策は4月発注を行い、7月工事の予定です。空調、雨水浸透型舗装の補修、省エネ型水光熱設備の導入等

の「大規模改修」については、検討委員会を開催し、中長期的な対策を行っていきます。

(5) 「教育会館ニュース」を2回(6月、12月)発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業について

(1) 発足28年目を迎えた会館共済は、新規加入者が261名で加入者総数が12,056名となりました。前年より330名の減でした。『遺族生活給付金共済(生命保障)』に付加する『医療プラン』は、発足後12年間加入者が増加し続けていましたが、初めて91名減の5,747名とな

りました。昨年導入した『介護プラン』は、初年度1,684名から814名増の2,498名となりました。

加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成23共済年度(平成23年9月1日〜平成24年8月31日)は、死亡19人(前年度12人)で給付総額は2億6,000万円(同一1億6,000万円)でし

表5 安全管理及び設備等の保守契約状況

	内 容	委 託 先	委 託 料
1	火災保険	共栄火災	保障 年掛金 6億4,756万8千円 254,350円
2	清掃管理	日本ビル管理	月 253,050円 × 12 エアコン 57,750円 × 2 ガラス 78,750円 × 1 年 3,230,850円
3	塵芥収集	熊本清掃社	月 23,940円 年 287,280円
4	エレベーター保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 59,850円 × 12 年 718,200円
5	防犯カメラ保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 28,000円 × 12 年 336,000円
6	自動ドア保守	熊本ナブコ㈱	年 210,000円
7	電話保守	N T T 西日本	リース月 57,004円 × 12 年 684,048円
8	電設保守	藤本義美	月 28,000円 × 12 年 336,000円
9	電気メーター交換	九州計装 エンジニアリング	15年交換 546,000円 1年当たり 36,400円
10	消防設備保守	ユージー防災設備	年2回 235,200円
11	空調設備	パナソニック	発生時払い
12	ロスナイ	空研工業	発生時払い
13	電算管理費 (基本契約)	肥銀コンピューター サービス	月 157,500円 × 12 年 1,890,000円
14	会計処理	ユース会計社	月 49,350円 × 12 年 592,200円
15	複写機リース	リコーリース	月 12,600円 × 12 年 151,200円
	複写機リース	リコーリース	月 8,295円 × 12 年 99,540円
16	浄水器リース	日本トリム 三菱UFJリース	リース満了により買い取り 1,050円
17	ホームページ管理	(有)オフィスウェブラン	年 274,540円
18	A E D 保守 パットカートリッジ バッテリー	総合警備保障	次期交換 2013年6月 年 10,000円 5年交換 34,000円 ※今年度本体買い替え時期
	計	年間保守委託料	9,380,858円

表 6 死亡・高度障害及び入院給付金 共済年度（9～8 月）5 年間の推移（円）

平成	死亡・高度障害 給付		入院 給付	
	件数	給付額	件数	給付額
19 年度	9	141,000,000	202	12,648,000
20 年度	8	130,000,000	184	13,512,000
21 年度	13	193,000,000	190	14,599,000
22 年度	12	160,000,000	193	16,150,000
23 年度	19	206,000,000	193	17,297,000

た。また、医療プランの給付は 193 件（同 193 件）で給付総額は 1,729 万円（同 1,615 万円）でした。医療給付は概ね安定していますが、死亡給付は 10 人以上 1 億 5 千万円を超える年度が増えています。会館の特別給付金（会計年度平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）は申請期間を 3 年間に延長して 3 年目となりました。給付額は年間約 1,400 万円前後で安定しています。また非常

備基金として 4,800 万円引き当てています。（表 6）（表 7）
(2) 会館共済Ⅱ型（貯蓄型生涯保障共済）の新規加入者は 9 名、退職等により 75 名の減で加入者総数は 910 名（前年度 947 名）になりました。
(3) 第 22 次より導入した「傷害プラン」の新規加入者は 4 名で、加入者総数は 135 名（前年度 134 名）

表 7 特別給付金の給付状況 平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

内 容		給付件数	前 年
1 入院見舞金	5 日以上	294 件	279 件
	30 日以上	47 件	45 件
	60 日以上	36 件	23 件
2 医療・初期入院（1 日～4 日）		230 件	215 件
3 休職見舞金		15 件	22 件
4 出産祝金		119 件	138 件
5 退職祝金		116 件	120 件
6 満期祝品		0 件	0 件
給付 総件数		857 件	842 件
給付 総 額		14,430,000 円	14,052,000 円

※「死亡・高度障害給付金」と「入院給付金」は太陽生命保険（株）から給付されます。
「特別給付金」は教育会館が給付します。
※給付の申請期間は 3 年間です。

表 8 平成 24 年度図書寄贈校

※小・中学校（25 校）県立学校（3 校）
○は重点校

地 区	学 校 名
荒尾・玉名	府本小学校
	荒尾清里小学校
	南関第三小学校
	滑石小学校
鹿 本	岳間小学校
菊 池	○西合志東小学校
阿 蘇	産山小学校
	久木野中学校
熊 本	川口小学校
	田底小学校
上 益 城	木倉小学校
	乙女小学校
宇 城	三角中学校
八 代	氷川中学校
人吉・球磨	一勝地小学校
	山江中学校
	湯前中学校
	相良中学校
水俣・芦北	葛渡小学校
	湯浦中学校
天 草	魚貫小学校
	栖本小学校
	久玉小学校
	河浦中学校
	今津中学校
県立学校	○熊本農業高校
	○南校高校
	○鹿本農業高校

でした。
(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月 2 回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。
(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会で検討を行いました。「自主共済制度の『少額・短期』給付制度」への移行として、休職見舞金の給付規程を「1 年以上 5 万円、2 年以上 10 万円の給付」を「1 年以上 10 万円」に変更し、当面 2 年目 10 万円は「共済会計から 5 万円、一般会計渉外費から 5 万円の給付」で対応しています。
4. 教育文化事業について
(1) 教育会館設立 25 周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの 20 年間で県内のべ 527 校に寄贈しました。今年度

も寄贈校 31 校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は 2,840 万円です。平成 24 年度の寄贈校は（表 8）のとおりです。
(2) 『会館共済第 25 次キャンペーン企画』として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から、学校寄席を開催して 3 年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、今年は 4 校で開催しました。県立・高等学校での開催は初めてでした。28 日の最終日に、開催校 4 校の代表者とさん喬師匠はじめ出演者との反省会を開催し、教育会館が目指す学校寄席について意見交換を行いました。
《開催校》
・11 月 26 日（月）熊本市立千原台高校
・11 月 27 日（火）上天草市立阿村小学校
・11 月 28 日（水）熊本県立盲学校

熊本県立松橋支援学校
(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月 1 回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。2 月 24 日（日）には熊本県かるた協会主催の「第 25 回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り広げました。
(4) 会館新築移転 10 周年を記念して、平成 18 年 8 月より『教育会館アートのひろば』を開催しています。（表 9）のように熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。
(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス「こころゆたたり講座」を 8 月 3 日（金）に教育会館で開催し、臨床心理士高木ひろみ先生のご講演「こころと

身体のリラックス法」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を11月20日(火)に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の松本参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利厚生室の塩宮参事のご講演「現場復帰に伴う諸手続きについて」の後ティータムを楽しんでもらいました。参加者は60名で、託児は56名でした。

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「チャイルドラインくまもと」を支援するとともに、教職員向けの電話相談室「レモングラス」を毎週火曜日に開設しています。

※平成23年3月11日の東日本大震災で多くの学校が被災しました。教育会館は岩手、宮城、福島県の3県に各100万円の図書寄贈を行いました。が、今もお礼のお便りが届いています。3月末に閉校になった陸前高田市の小友中学校の遠藤美礼さんのお便りをご紹介します。

これからも私たちは3・11を忘れず支援していきます。

表9 アートのひろば開催状況

第6期(平成23年10月～24年5月)

- 4月期は、福島露子氏(甲佐町)の油彩画展
- 5月期は、坂口節夫氏(熊本市)の油彩画展
- 8月期は、浜田知明氏(熊本市)のパネル展

第7期(平成24年10月～25年5月)

- 10月期は、松下佐代氏(熊本市)の油彩画展
- 11月期は、梅田正治氏(御船町)の水墨画展
- 12月期は、安田賢一氏(熊本市)の油彩画展
- 1月期は、日本画教室展
- 2月期は、大塚浩平氏(嘉島町)の水彩画展
- 3月期は、平岡尚子氏・清田至氏(天草市)の油彩画展
- 4月期は、岡田繁忠氏(熊本市)の油彩画展
- 5月期は、村田紀美子氏(熊本市)の水彩画展



前略
震災からもうすぐ二年が経ちます。皆様のご支援のおかげで小友中にふたたび笑顔がふれるようになりました。二〇一二年三月一日、小友中学校と小友町は、大きな傷を負いました。でも今は日本中、そして世界中の方々の応援で明るくを取り戻し、わたしたちは毎日楽しく過ごしています。小友中学校は三月末に閉校することになりました。皆さんの方々からいただいた元気な心を忘れずに、最後まで誇りをもち、小友中の歴史に幕を閉じたいと思っています。この二年間の経歴を活かすために、わたしたちは一歩一歩前に進んでいます。皆様、本当にありがとうございます。

陸前高田市立小友中学校一年
遠藤 美礼

平成25年度図書寄贈予定校

*小・中学校(19校) 県立学校(6校) ○は重点校1年目 ◎は重点校2年目

地区	学校名
荒尾・玉名	玉東中学校
鹿本	千田小学校 鹿北中学校
菊池	◎西合志東小学校 泗水中学校
阿蘇	りんどうヶ丘小学校 内牧小学校
熊本	銭塘小学校 奥古閑小学校
上益城	潤徳小学校 中島小学校 七瀬中央小学校
宇城	砥用小学校
八代	東陽小学校 八竜小学校
人吉・球磨	五木東小学校
水俣・芦北	緑東中学校
天草	本渡東小学校 牛深東中学校
県立	◎熊本農業高等学校 ◎南陵高等学校 ◎熊本農業高等学校 ○鹿本商工高等学校 ○菊池農業高等学校 ○小川工業高等学校

12月期 安田 賢氏

1月期 日本画教室

2月期 大塚浩平氏

3月期 平岡 尚子氏 清田 至氏

4月期 岡田 繁忠氏

5月期 村田紀美子氏

教育会館・学校寄席

出演者

- ① 落 語 (柳亭左龍)
- ② 落 語 (柳家喬之助)
- ③ 太神楽 (鏡味仙三)
- ④ 三味線 (太田その)

学校寄席 1

- 日時 10 月 22 日 (火) 14 時～ 15 時 30 分
- 会場 嘉島町立嘉島西小学校

学校寄席 2

- 日時 10 月 23 日 (水) 14 時～ 15 時 30 分
- 会場 芦北町立吉尾小学校

学校寄席 3

- 日時 10 月 24 日 (木) 13 時 30 分～ 15 時
- 会場 上天草市立龍ヶ岳中学校

お知らせ

育休中の教職員のために

『癒し・おしゃべりの場所 パパママひろば』をご用意しました

毎月第 2 水曜日、10 時から 15 時まで会館内の一室を開放します。
原則午前中は何かイベントを開催し、午後は自由時間とします。
材料代等の費用が必要な場合があります。

お昼はお弁当を準備してください。

駐車場は、会館駐車場の 2 階に駐車できますが、
満車の時は近隣のコインパーキングをご利用ください。

参加は、先着 10 組までです。午前や午後だけの
参加も可です。

申込は「教育会館 HP」をご覧ください。



開催予定

4 月 10 日 (水)	ベビーマッサージ
5 月 8 日 (水)	ファーストサイン 音楽遊び
6 月 12 日 (水)	リトミックと音楽遊び
7 月 10 日 (水)	絵本の読み聞かせと絵本講座
8 月 21 日 (水)	小麦粉粘土遊び
9 月 11 日 (水)	ハルーン遊び
10 月 9 日 (水)	スタンプ遊び
11 月 19 日 (火) (パパママ広場はお休み)	カムバックセミナーの開催

こころゆったりヒーリングセミナー

～たまには自分にごほうびを！～

- (1) 目 的 忙しい毎日をご過ごされる教職員に、ゆったりとした時間、自分を見つめ直す時間をご提供するために開催します。
- (2) 内 容 「こころ豊かにコミュニケーション」
①自分を知る
②共感に必要な 4 つの力
③心の健康について
- (3) 講 師 浦野エイミ先生
(公益社団法人くまもと被害者支援センター専務理事・センター長)
- (4) 参加対象 教職員 20 名 (昨年参加されていない方を優先します)
- (5) 開催日時 8 月 2 日 (金)
・受付 9 : 45 ～
・第 1 部 セミナー 10 : 00 ～ 11 : 30
～忙しさを忘れて自分と向き合います～
・第 2 部 会食 12 : 00 ～ 13 : 00 (解散)
～ちょっと豪華なランチタイムです～
- (6) 会 場 熊本県教育会館 5 階
(熊本市中央区九品寺 1 丁目 11-4)
- (7) 参加費 1000 円 (当日受付にていただきます)
- (8) 申込先 熊本県教育会館・担当 (笹浪)
電話 (096-372-3800)
- (9) 申込締切 7 月 19 日 (金) 15 時まで、必ず電話でお申込下さい。
(定員になり次第締め切ります)

カムバックセミナー

～育児休業者現場復帰支援～

- (1) 目 的 育児休業中の教職員が現場復帰する際に、子どもを抱え大きな精神的なストレスを感じています。少しでも不安を解消してスムーズに教育現場に復帰できるように、県教育委員会、公立学校共済組合にご協力いただいて開催します。
- (2) 講 師 県教育委員会・公立学校共済組合から
- (3) 参加対象 熊本県下の公立学校に勤務する教職員で育児休業を取得中の方、又は予定の方
70 名 (託児あり)
- (4) 開催日時 11 月 19 日 (火) 13 : 00 ～ 16 : 00
- (5) 会 場 火の国ハイツ (熊本市東区石原 2 丁目 2-28)
- (6) 申込先 熊本県教育会館・担当 (笹浪)
電話 : 096-372-3800
- (7) 申込締切 申込の方法は「教育会館ホームページ」に 9 月から掲載します。
(定員になり次第締め切ります)

